

ゴルフアー& ノンゴルフアー調査

三石茂樹
株式会社矢野経済研究所

5th Golf Innovation Symposium

USGA®

調査概要

調査方法

インターネット消費者調査。楽天インサイトの登録モニター及び調査システムを利用して調査を実施、矢野経済研究所が集計、分析を行った（ゴルファー調査、ノンゴルファー調査共通）

ゴルファー調査

- ・調査対象者：普段の趣味として「ゴルフ（練習場、打ちっ放しを含む）」を楽しんでいる生活者
- ・調査対象人数（n数）：2,000人（男性1,680人、女性320人）

ノンゴルファー調査

- ・調査対象者：ゴルフ未経験者及び休眠層（以前はゴルフをしていたが、現在はしていない生活者）
- ・調査対象人数（n数）：5,000人（男性2,806人、女性2,194人）

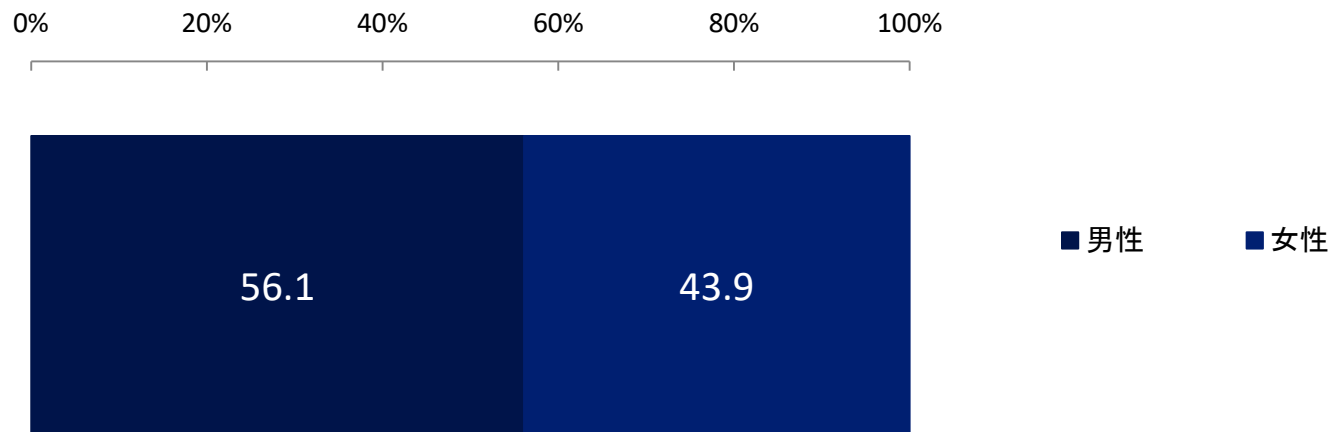
ゴルファー & ノンゴルファー 調査

ノンゴルファー調査



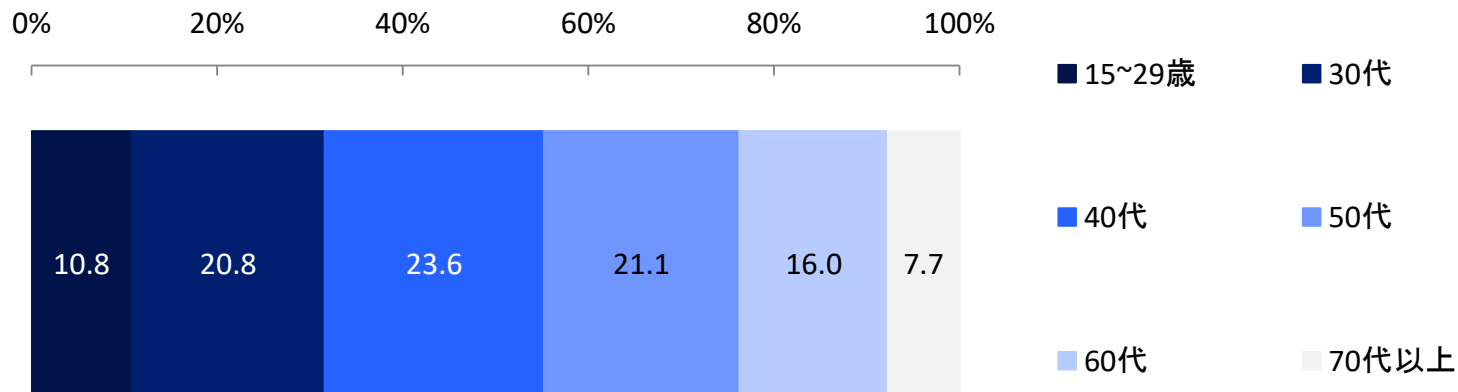
回答者属性

— 性別 —



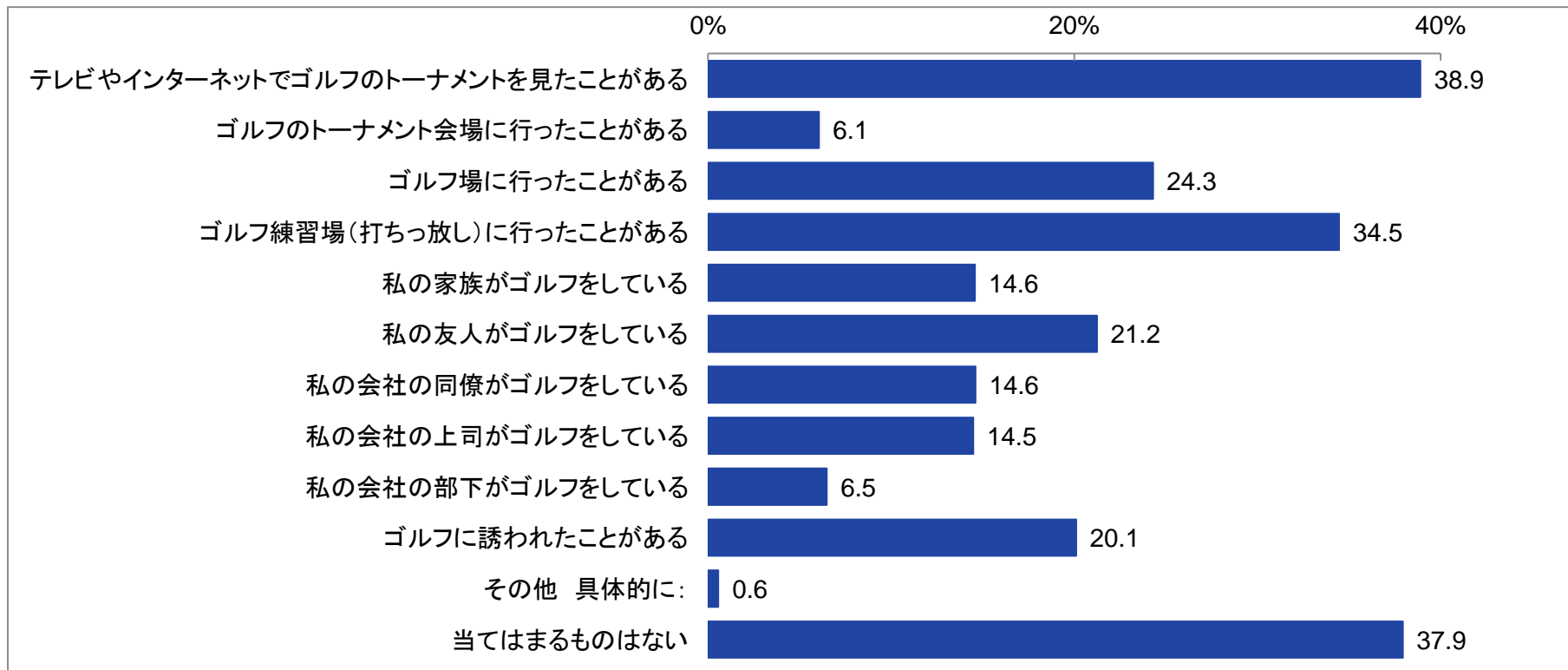
回答者属性

— 年代別（男女計） —



平均値47.87歳

ゴルフとの接点

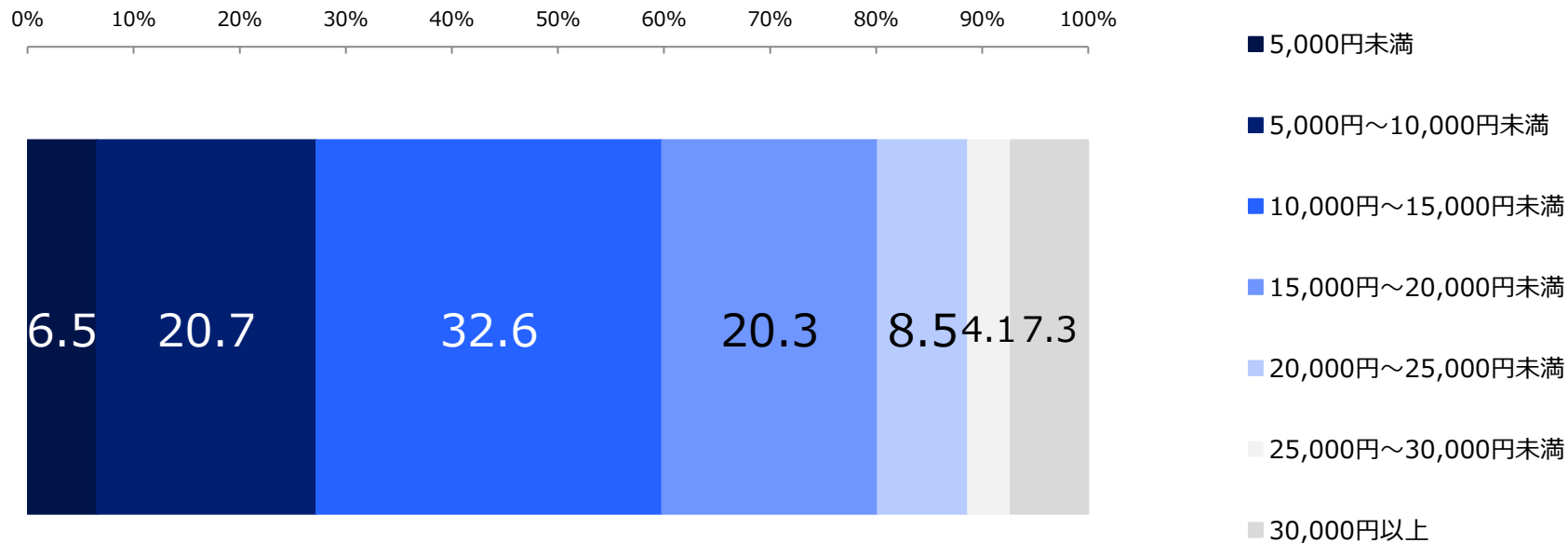


阻害要因 (TOP5)

1. 道具にお金がかかりそう
2. プレーするのにお金がかかりそう
3. プレーするのに時間がかかりそう
4. 上手くなるまでに時間がかかりそう
5. ほかに趣味がある

ゴルフに対する「相場感」

一回のゴルフ場でのプレーにどのくらいかかると思うか？



スポーツ、レジャーを楽しむ上で重要なこと

1. コスト（安価に楽しめること）
2. 健康に良いこと
3. 歳を重ねても楽しめること
4. ゆったりとした時間を過ごせること
5. 自宅から近いこと

潜在需要

	n	%
全体	5000	100.0
今までゴルフをしたことはないが、きっかけがあれば始めても良いと思う	856	17.1
以前ゴルフをしていて今はしていないが、きっかけがあればまた始めても良いと思う	661	13.2
以前ゴルフをしていて今はしておらず、これからもやるつもりはない	917	18.3
今までゴルフをしたことはなく、これからもやるつもりはない	2566	51.3



(最大で) 非ゴルファーの30%が潜在層



理論上は約3,000万人の潜在層が存在

どんなゴルフならばやってみたい？

そう思う

- ・リーズナブルな価格でプレーすることができる
- ・道具にお金を掛けずに楽しむことができる
- ・自分の健康状態が改善する
- ・家族と一緒に楽しむことができる
- ・道具を持っていなくても楽しむことができる
- ・丸一日かからず、短時間で楽しむことができる
- ・より多くの時間を家族や友人と過ごすことができるようになる
- ・新しい友人と出会える
- ・車を持っていなくてもゴルフ場に行くことができる
- ・学校や地域施設などを介して楽しむことができる
- ・自分自身のキャリアアップやビジネスチャンスの増加に繋がる
- ・日本人選手が2020年東京オリンピックのゴルフ競技でメダルを獲得
- ・日本人選手が2019年に海外のメジャー大会（マスターズ、US女子オープンなど）で優勝

そうは
思わない

ゴルファー & ノンゴルファー 調査

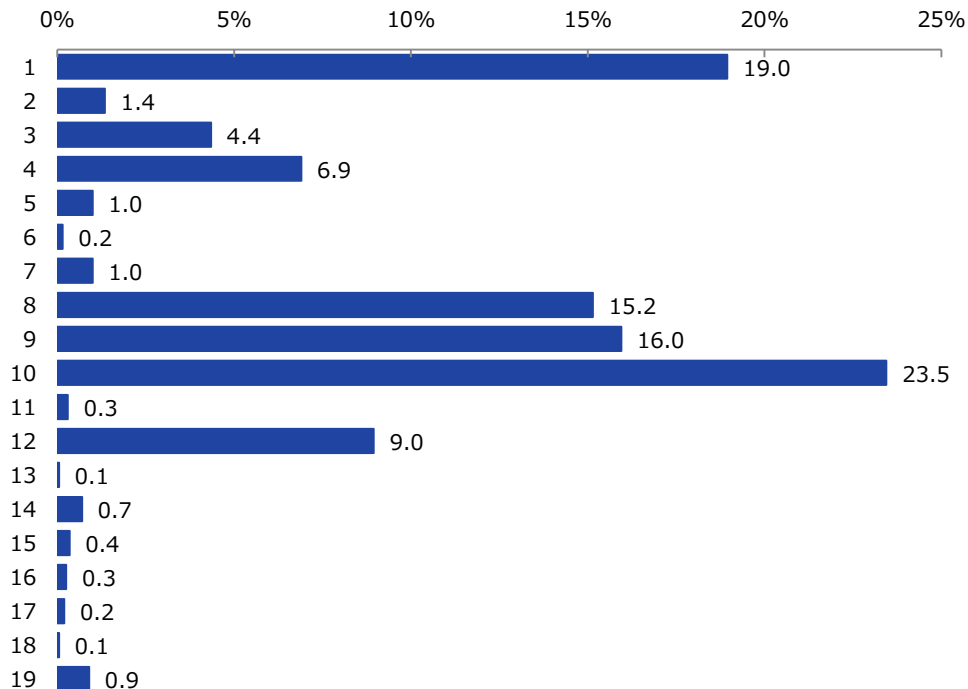
ゴルファー調査

1. ゴルファーのプロフィール



ゴルフを始めたきっかけ

	n	%
全体	2000	100.0
1 ゴルフに興味を持って（自分自身で）始めた	379	19.0
2 テレビでゴルフのトーナメント中継を見て興味を持ったから	27	1.4
3 配偶者に勧められて	87	4.4
4 親に勧められて	138	6.9
5 兄弟（姉妹）に勧められて	20	1.0
6 自分の子供に勧められて	3	0.2
7 親戚に勧められて	20	1.0
8 友人に勧められて	303	15.2
9 会社の同僚に勧められて	319	16.0
10 会社の上司に勧められて	469	23.5
11 会社の部下に勧められて	6	0.3
12 工作上必要になったから	179	9.0
13 プロに勧められて	1	0.1
14 学校やクラスを通して	14	0.7
15 キャディーをしていたから	7	0.4
16 ゴルフ場で働いていたから	5	0.3
17 ゴルフ練習場で働いていたから	4	0.2
18 ゴルフショップで働いていたから	1	0.1
19 その他 具体的に：	18	0.9

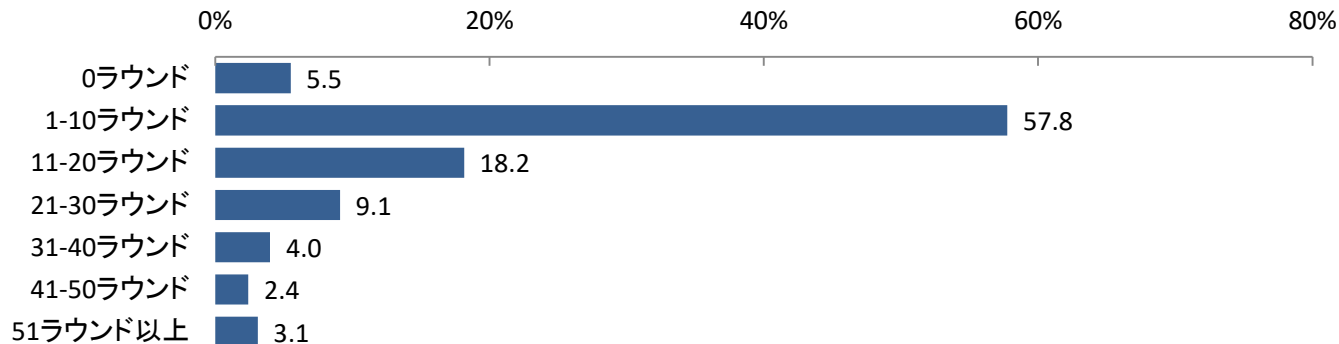


ゴルフを始めた年齢

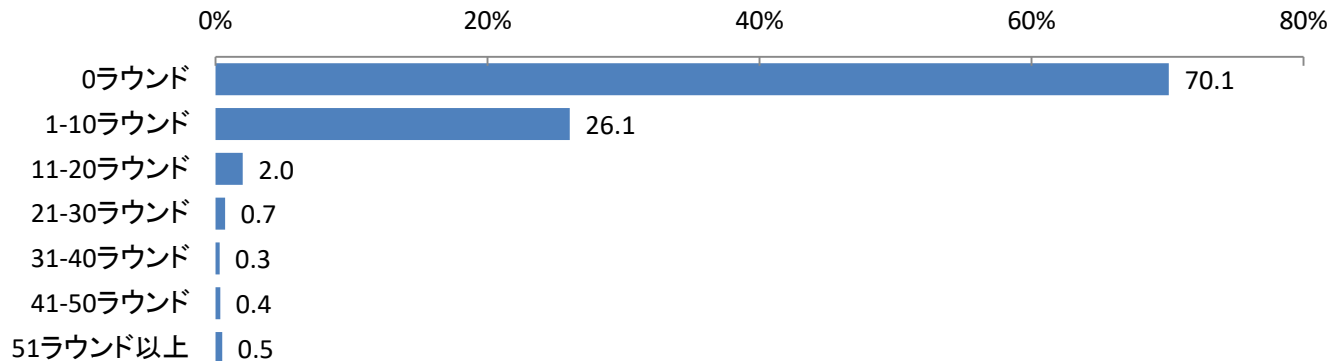
平均 : 31.69歳

年間ラウンド数

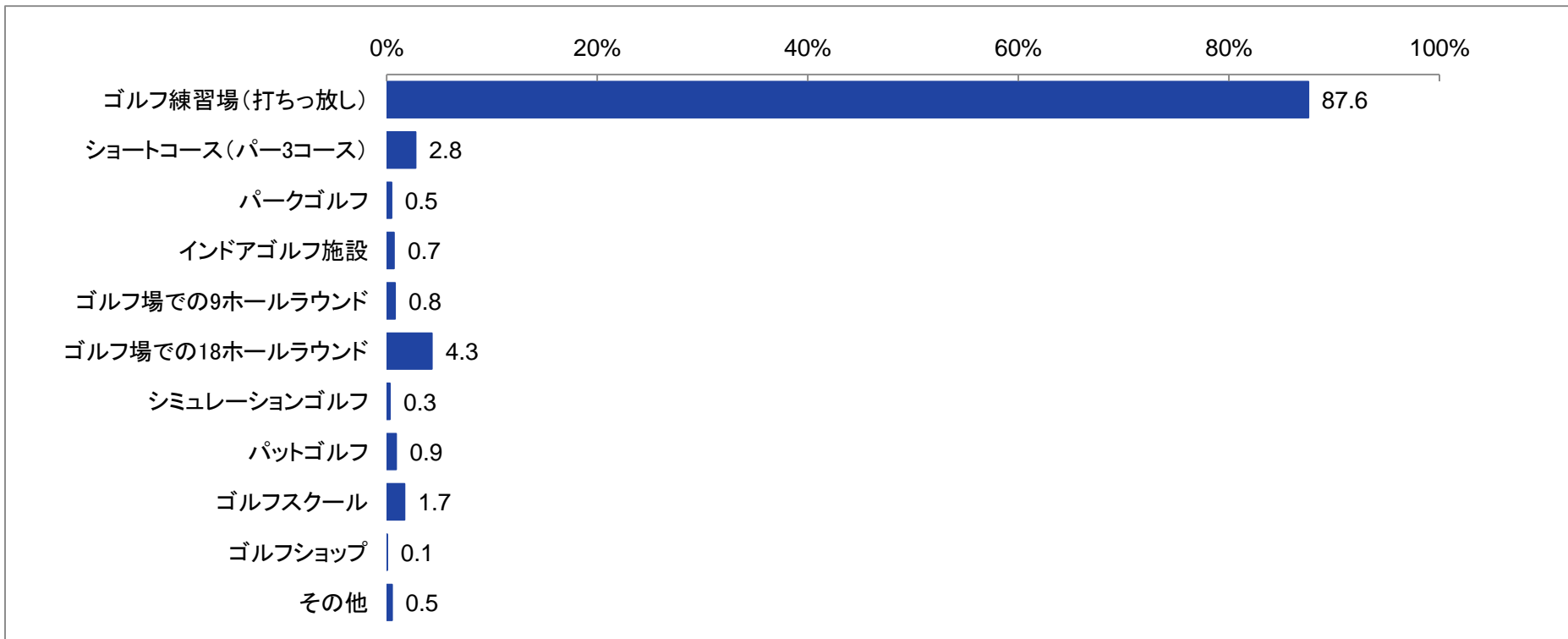
- 18ホールプレー -



- 9ホールハーフプレー -



最初のゴルフ体験

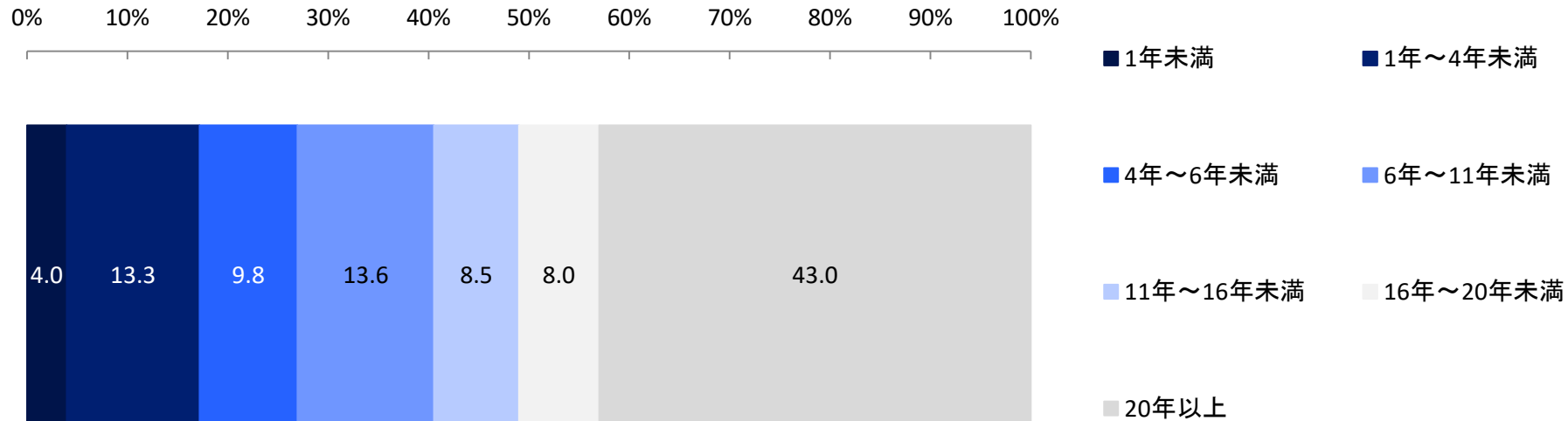


一年間の平均スコア／ハンディキャップ

■ **平均スコア：105（回答者1,759名）**

■ **平均ハンディキャップ：23.82（回答者207名）**

ゴルフ歴

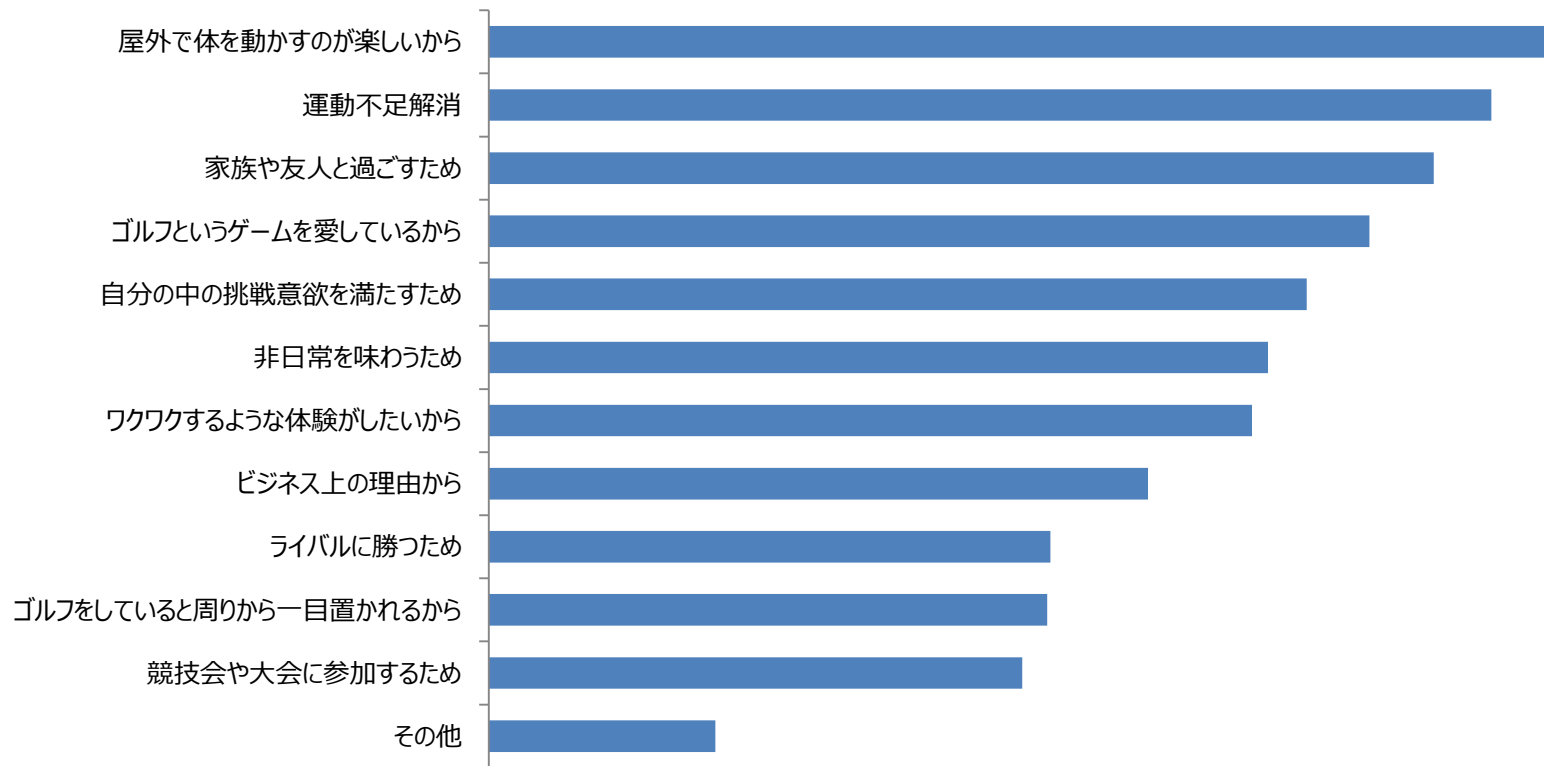


Ⅱ. ゴルファー調査

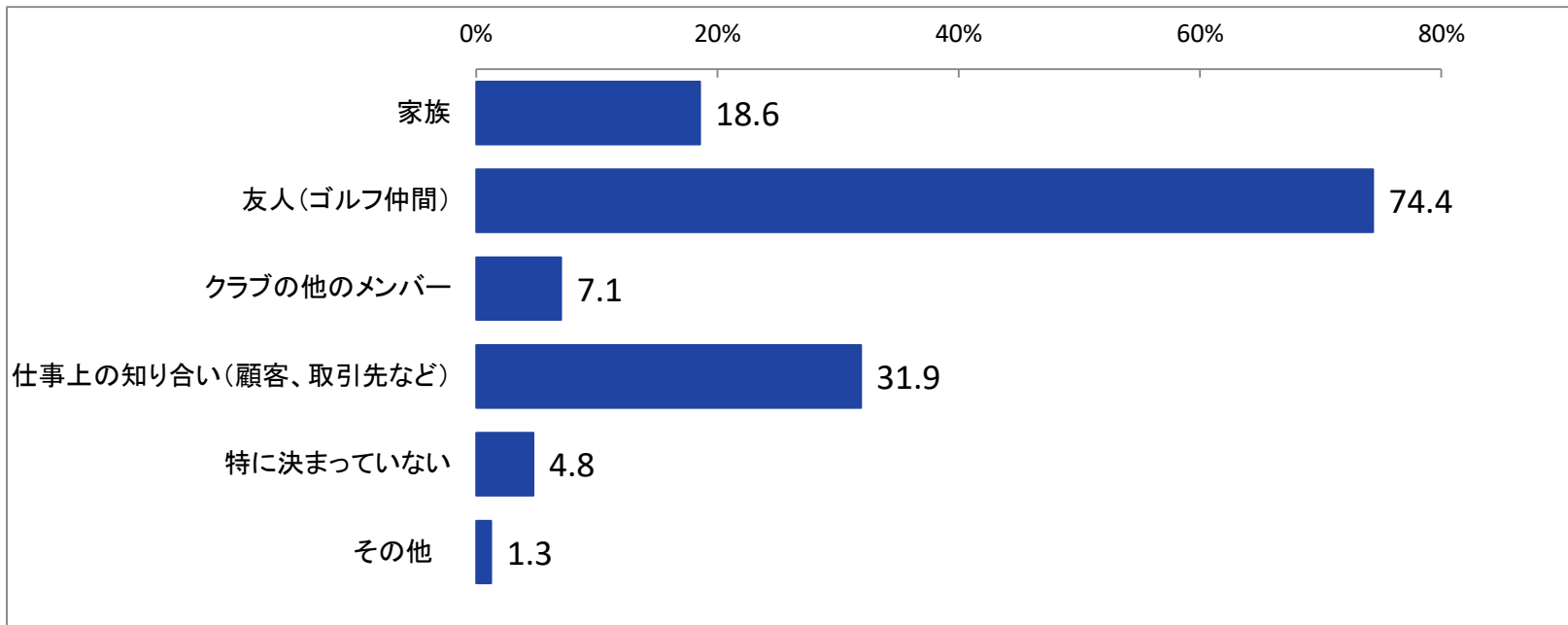
2. ゴルファー嗜好と行動



ゴルフをしている理由

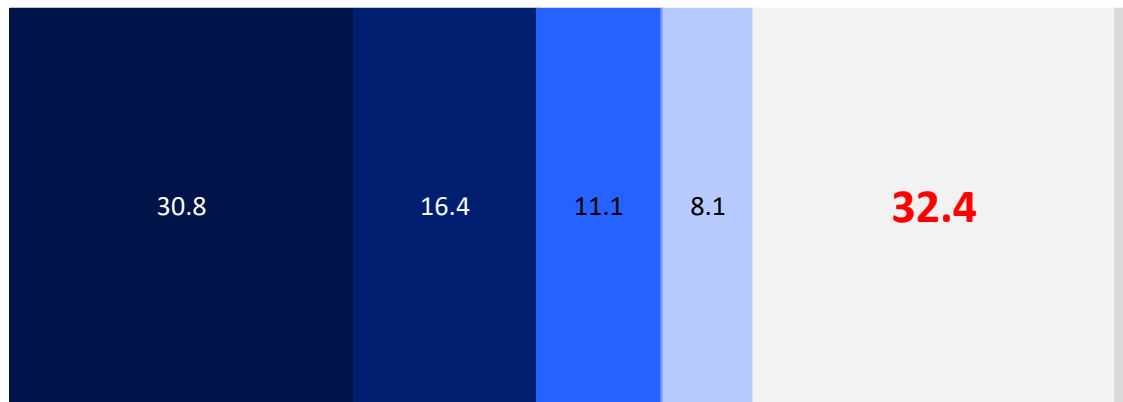


よく一緒にプレーする人



プレー予約の方法

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 自らパソコンのオンライン予約を使用する

■ 自ら携帯電話(スマホ)やタブレットを利用してオンライン予約を使用する

■ 自ら電話で予約

■ 自らFAXで予約

■ 人伝に(そのゴルフ場のメンバーなどに予約をお願いします)

■ 他の誰かが予約した際に誘われることが多い

■ その他 具体的に:

一回のゴルフプレーにかかる平均的な金額（プレー代金、交通費、食事代金などを含む総額）

平均：18,350円

ゴルファーの嗜好（二者択一）

車でのゴルフ



95.7%

VS.

公共交通機関でのゴルフ



4.3%

ゴルファーの嗜好（二者択一）

18ホール
スルー



65.5%

VS.

ハーフで食
事休憩



34.5%

ゴルファーの嗜好（二者択一）

キャディ付きプレー



20.3%

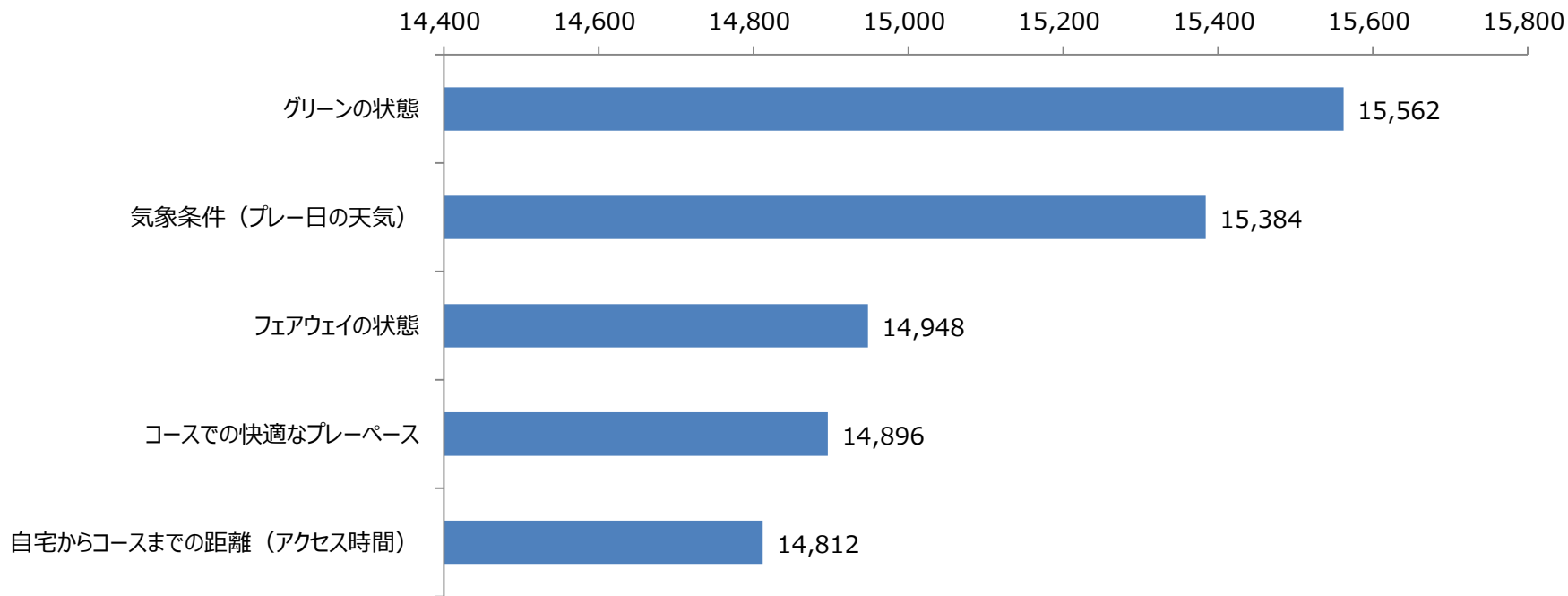
VS.

セルフプレー



79.8%

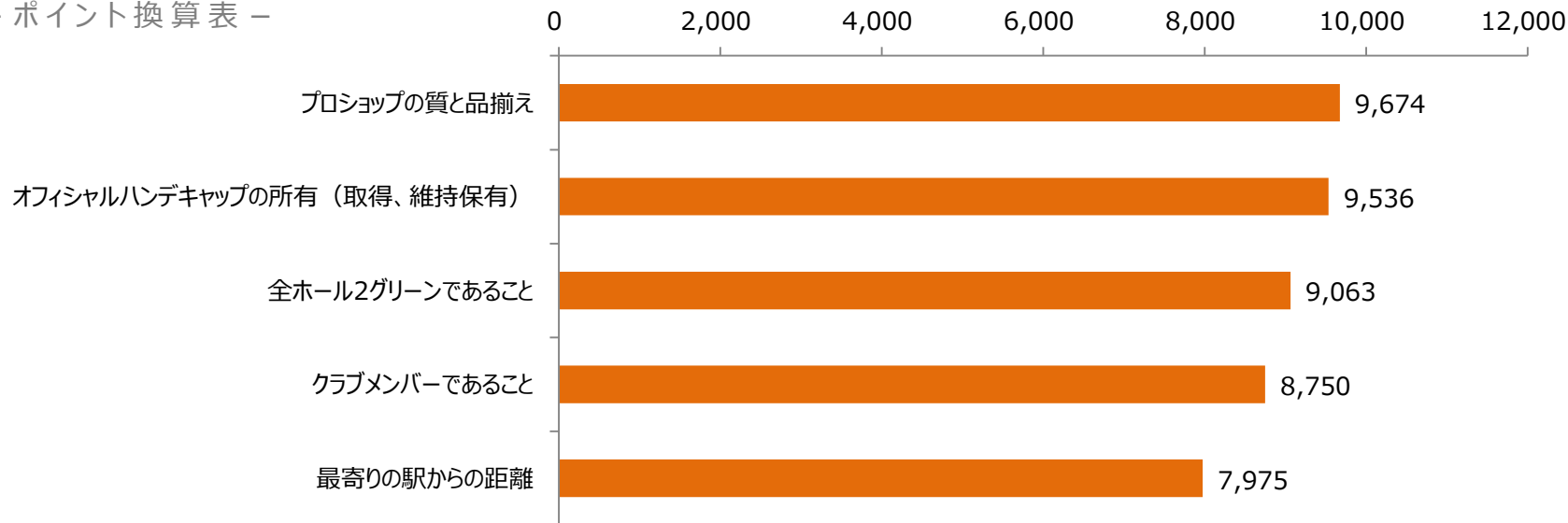
プレー時に重視する項目（トップ5）



※それぞれの重要度をポイント化（例 10:10ポイント、9:9ポイント）し、それぞれの項目のポイントを合計したもの。ポイントが多いほど「重要度の高い課題」ということになる。

プレー時に重視する項目（ワースト5）

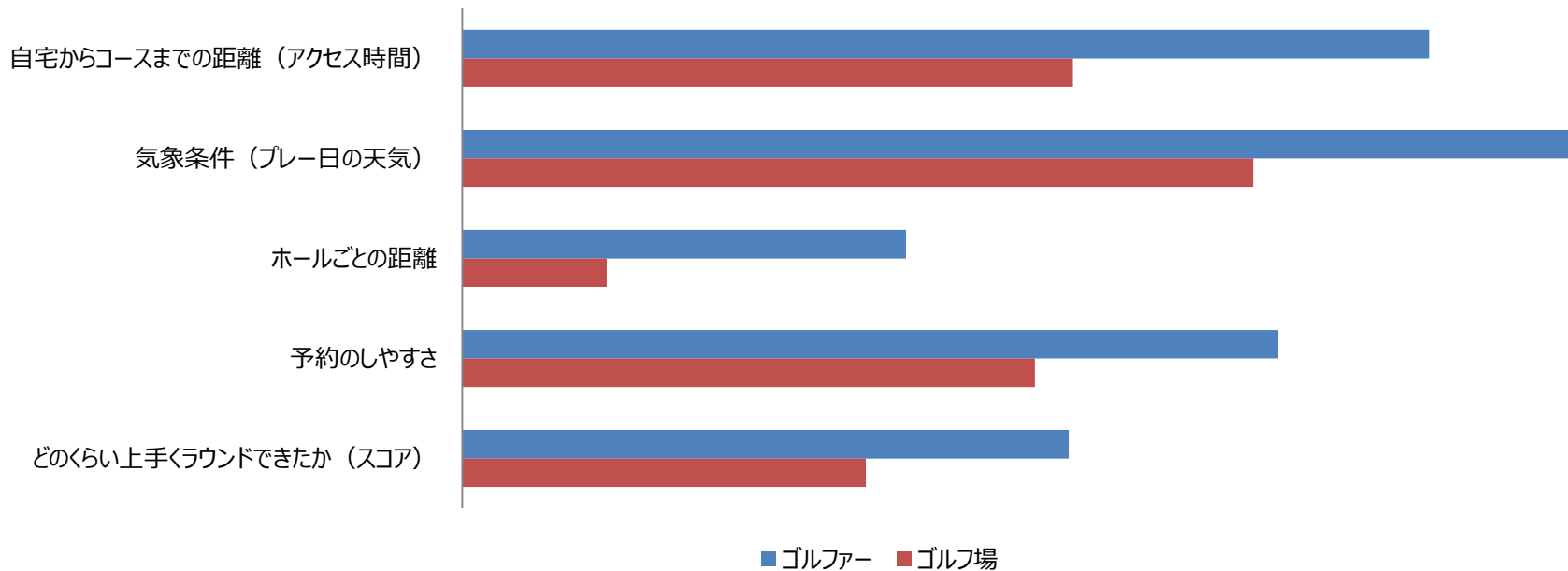
－ポイント換算表－



※それぞれの重要度をポイント化（例 10：10ポイント、9：9ポイント）し、それぞれの項目のポイントを合計したもの。ポイントが多いほど「重要度の高い課題」ということになる。

ゴルファーとゴルフ場のプレーに対する意識のギャップ

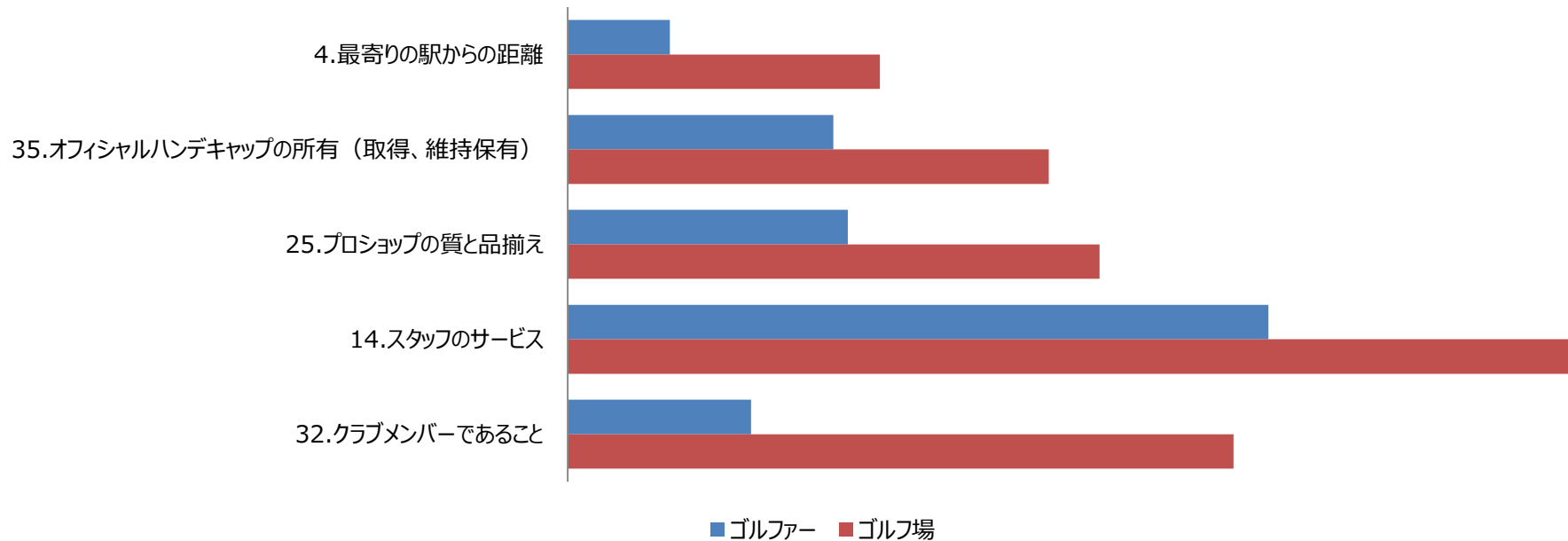
ゴルファー vs ゴルフ場でギャップの大きい項目トップ5（ゴルファーにとって重要だが、ゴルフ場にとって重要ではない）



※ ゴルファー調査、ゴルフ場調査それぞれの結果を統計手法を用いて比較している

ゴルファーとゴルフ場のプレーに対する意識のギャップ

ゴルファー vs ゴルフ場でギャップの大きい項目トップ5（ゴルフ場にとって重要だが、ゴルファーにとって重要ではない）



※ ゴルファー調査、ゴルフ場調査それぞれの結果を統計手法を用いて比較している

ありがとうございました!

5th Golf Innovation Symposium

USGA®